

国際障がいスカウトキャンプ大会
第13回日本アグーナリー
「共生社会」の実現に向けて
大会協力をお願い

1. 日本アグーナリーとは

第13回・……
日本アグーナリー

2020年、夏。福島県

全国から約1,200人が集い
キャンプ生活などを通じて、障がいへの理解を深める、
国際障がいスカウトキャンプ大会

「第13回日本アグーナリー」を開催します。



そなえよつねに
ボーイスカウト

日本アグーナリーとは

障がいのある青少年が相集い、海外を含めた多くの青少年たちとのキャンプ生活を通じて、明るい希望をもって、積極的に社会生活に参加することを目的に4年に1回の周期で開催しています。

障がいのある青少年を対象とした体験の機会であるだけでなく、多様性や障がい理解を深めたいと願う健常者にとっても学びの多い大会です。

これまでに12回開催しており、海外からの参加やボーイスカウト加盟員ではない一般の方々の参加もあり、非常に社会性の高い大会となっております。

第13回日本アグーナリー開催概要

名称：第13回日本アグーナリー（国際障がいスカウトキャンプ大会）

テーマ：We Can! ふかめよう友情、ひろげよう絆

期間：2020年8月12日（水）～16日（日）

参加者：1,200人（予定）小学校中学年から高校生および成人

会場：福島県・国立磐梯青少年交流の家

（福島県耶麻郡猪苗代町五輪原7136 - 1）

主催：公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

後援：文部科学省、厚生労働省、防衛省、福島県、福島県教育委員会、猪苗代町、猪苗代町教育委員会、独立行政法人国立青少年教育振興機構（全て予定）



大会会場



福島県・国立磐梯青少年交流の家
(福島県耶麻郡猪苗代町字五輪原7136-1)

東京駅から新幹線と在来線で約2時間
「猪苗代駅」から車で約10分

磐梯青少年交流の家は、全国で28ヶ所ある国立青少年教育施設の1つです。
ここでは、テントで泊まれるキャンプ場、屋内宿泊室、野外炊事場、グラウンドなどがあり、自然体験活動や多様なアクティビティを展開できます。

プログラム

大会では、およそ30のさまざまなプログラムを展開します。

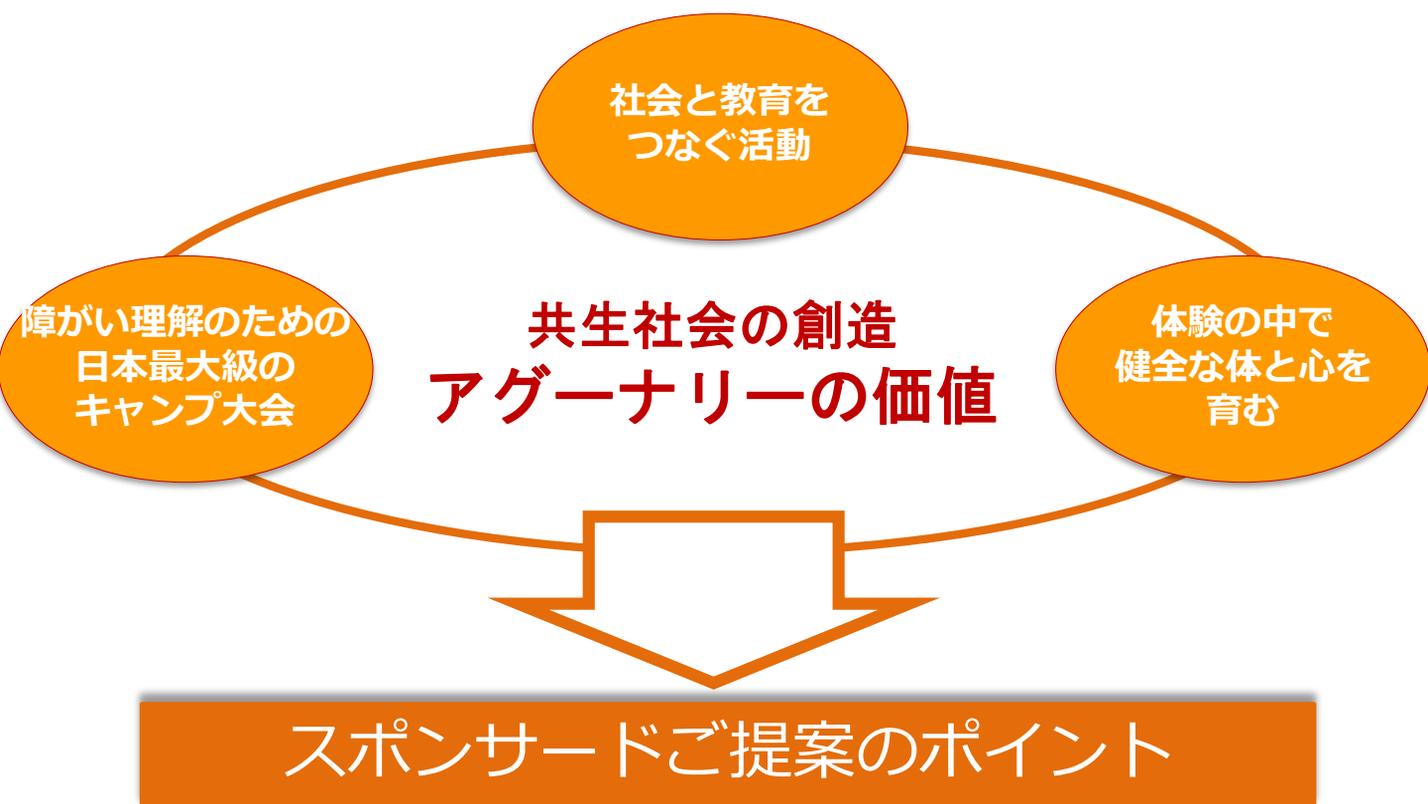
- ・ 障がい理解のための体験プログラム
- ・ 企業等の協力によるサイエンスプログラム
- ・ 身体を動かすアクティブプログラム
- ・ 開催地を活かした場外プログラム

キャンプ生活における仲間との交流も大会の重要な要素です。



2. スポンサーボードご提案

大会をご支援いただける、企業・団体さまを募集しております。



福祉関連商材などのPRの機会

アグーナリーに参加する青少年は、明日のリーダーであり、次代の消費者です。未来に向け、貴社の商品・サービス及びブランドの認知を、参加者を通じて広げるチャンスです。

自社での障がいや多様性への理解浸透

近年、障がい者雇用や多様性の尊重が叫ばれており、各企業は取り組みを強化しています。今大会への協力を通じて、社内外に向けた多様性理解のきっかけを広げるチャンスです。取り組みを社会に発信することで、CSRにつながります。

東日本大震災の復興支援

2011年に発生した東日本大震災から7年が経ちましたが、まだ被災地での復興は続いています。当時の恐怖や被害からトラウマを抱えている方も多いです。福島県を会場とする本大会でさまざまな挑戦をすることで、地元の皆さまにも希望と勇気を広げていきます。



3. スポンサーカテゴリー

第13回日本アグーナリーが持つ魅力的な資産を
貴社の広報活動やCSR活動等で効果的に
ご活用いただけるメニューをご用意いたしました。

大会の各種媒体や当連盟の機関誌などに貴社のロゴなどを掲載いたします。
PR活動、CSR活動の機会として、ご協力ください。
会場内でのプログラム（ワークショップ等）も募集しております。

ゴールド スポンサー	シルバー スポンサー	ブロンズ スポンサー	プログラム 協力
50万円	30万円	10万円	—

協賛メリット	スポンサー			
	ゴールド	シルバー	ブロンズ	プログラム
設定金額(単位：万円)相当額の物品提供含む	50	30	10	—
1)スポンサーである旨の呼称の使用権	○	○	○	○
2)大会ロゴマークの使用権	○	○	○	○
3)13NA肖像物使用権	○	○	○	○
4)オフィシャル印刷物等への社名の掲出				
a)参加者向けハンドブック（ロゴの大きさ）	大	中	小	中
b)デイビジターガイド（一般来場者用）	大	中	小	中
c)報告書（印刷物）	大	中	小	中
d)公式DVDビデオ	○	○	○	○
e)特設WEBサイト	大	中	小	中
5)会場内施設等への社名の掲出				
a)会場内のバナー	○			
b)会場案内板マップ（ロゴの大きさ）	大	中	小	中
c)ゲートアーチ	○	○		
6)連盟機関誌「スカウティング」誌への広告掲出				
a)1号分の広告スペース（表4）	1頁			
b)特集号への貴社名の掲載 （ロゴの大きさ）	大	中	小	中
7)公式行事観覧席のご提供（人数別途調整）	○	○		○
8)大会各種記念品の贈呈	○	○	○	○



4. 過去の大会

第13回 日本アグーナリー

第1回日本アグーナリー



期間 昭和48年8月17日～20日
 場所 愛知・県立愛知青少年公園
 テーマ かぎりなく、はばたこう
 参加人数 200人

第2回日本アグーナリー



期間 昭和51年7月30日～8月3日
 場所 愛知・県立愛知青少年公園
 テーマ のりこえよう大地をふんで
 参加人数 336人

第3回日本アグーナリー



期間 昭和54年8月3日～7日
 場所 大阪・大阪市長島公園
 テーマ のりこえよう大地をふんで
 参加人数 660人 (海外11か国32人)

第4回日本アグーナリー



期間 昭和58年8月5日～9日
 場所 兵庫・県立緑野台生涯教育センター
 テーマ のりこえよう大地をふんで
 参加人数 972人 (海外15か国49人)

第5回日本アグーナリー



期間 昭和62年7月31日～8月4日
 場所 静岡・国立中央青年の家
 テーマ のりこえよう大地をふんで
 一富士のふもとで、元氣にはばたこう
 参加人数 989人 (海外14か国95人)

第6回日本アグーナリー



期間 平成3年7月25日～29日
 場所 東京・国立オリンピック記念青少年総合センター
 テーマ のりこえよう大地をふんで
 参加人数 851人 (海外13か国、76人)

第7回日本アグーナリー



期間 平成7年7月26日～30日
 場所 新潟・国立妙高少年自然の家
 テーマ 広がる夢 友達の輪
 参加人数 880人 (海外16か国、99人)

第8回日本アグーナリー



期間 平成11年8月5日～9日
 場所 愛媛・松山市野外活動センター
 テーマ 広がる夢 友達の輪
 -あいこぼは、"We Can!"-
 参加人数 1,143人 (海外15か国、130人)

第9回日本アグーナリー



期間 平成15年7月31日～8月4日
 場所 石川・珠洲市りふれっしゅ村跡ヶ崎
 テーマ 広がる夢 友達の輪
 -あいこぼは、"We Can!"-
 参加人数 1,252人

第10回日本アグーナリー



期間 平成20年7月31日～8月4日
 場所 兵庫・神戸市しあわせの村
 テーマ WeCan! あなたといれば...
 参加人数 1,078人 (海外6か国、89人)
 大会情報はこちら

第11回日本アグーナリー



期間 平成24年8月2日～6日
 場所 滋賀・希望が丘文化公園
 テーマ WeCan! あなたといれば...
 参加人数 717人 (海外2か国、30人)
 大会情報はこちら

第12回日本アグーナリー



期間 平成28年8月12日～16日
 場所 静岡・県立富士山麓山の村
 テーマ We can! 富士からともにはばたこう
 参加人数 943人 (海外3か国、39人)

参加目的

今、看護学部の学生で、将来看護師になりたいと思っているので、いろんな人と関わって、たくさん学びたいと思って参加しました。



佐藤 愛水さん
 愛知・一宮第5団
 (大会スタッフ)

参加目的

将来、教育関係に携わろうと考えているので、たくさんのスカウトと交流したい。また、大会は特別支援活動にも関係しているので、それを学びに来ました。



田丸 りほさん
 神奈川・横浜第30団
 (大会スタッフ)

参加目的

みんなと仲良くしたい。
 友だちを作りたい。
 外国隊との交流が楽しみ。
 オーストラリアや
 シンガポールのスカウトと
 友だちになる。
 みんなと友だちになりたかった。



鈴木 千遥さん 船谷 有花さん
 谷口 壮一さん 橋本 幸さん
 兵庫・尼崎第25団 (参加者)

将来の夢

今、社会福祉の勉強をしていて、将来は社会福祉士になりたいです。



吉村 和馬さん
 京都・京都第24団
 (大会スタッフ)
 介助犬
 カロリーナ

障がい者と呼ばれる方々も健常者と呼ばれる方々も、ほとんど変わらないことがこの大会を通じて分かりました。個性を大事にして、理解を深めることが大事だと思いました。



平田 嘉佑さん
 滋賀・蒲生第2団

理解を深めることがすごく大切だと思います。見ること、聞くこと、実際に触れ合って交流したり経験することを通して、みんなと一緒に生活できる共生社会に近づいていけるのではないかと思います。



高橋 主樹さん
 神奈川・川崎第46団



そなえよつねに
ボーイスカウト



2022年に日本のボーイスカウト運動は100周年を迎えます。
これまでのご支援に感謝申し上げますと共に、
引き続き一層ご支援のほどお願い申し上げます。

■ この件についてのお問い合わせ

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
事務局 社会連携・広報部

〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3

Tel:03-6913-6262 Fax:03-6913-6263 E-mail:hello@scout.or.jp

